

はじめに

館長 岩井秀昭

本学院図書館では児童・生徒・学生・教職員の教育・学術研究に資し、その運営の適正と円滑を期することを目的とし、いきいきとした学院をつくるためにさまざまな教育活動を支援しています。児童・生徒・学生の学習活動や教職員の研究活動に役立つ資料提供、また一人ひとりの楽しみや好奇心を満たすための資料提供によって、図書館は全ての利用者の「見たい」、「読みたい」、「知りたい」という要求に応えるよう努めています。

生涯学習の点においても、図書館の役割には大きいものがあります。情報収集の場として、図書館を大いに活用していただきたいと思います。

文部科学省が2008年4月に行った全国学力・学習状況調査（全国学力テスト）の結果分析によると「学校図書館を活用した授業」に取り組んでいる学校では学力が伸びている事がわかりました。さらに、読書習慣が身につけている子は、国語ばかりではなく、算数・数学の成績が伸びていることもわかりました。このことは、読書や調べ学習など図書館を利用した授業がいかに重要であることを示しています。今後、図書館利用が大いになされることを願っています。

学院図書館は、幼稚園から短期大学までの「総合学院図書館」として、また卒業生や保護者の方々、さらには広く一般の方々にも利用して頂いています。児童書から専門書までの幅広い豊富な資料（約18万冊）を所蔵し、常に利用者の皆さんの来館をお待ちしています。

皆様の忌憚のないご意見・ご感想などをいただき、今後も更なる蔵書の充実、利用の拡大そしてより良い運営を目指してまいりたいと思っています。

大阪信愛女学院図書館活動方針

1. 基本方針

図書館では、学生・生徒・児童が建学の精神にもとづき、女性としての豊かな心を養うと共に、物事を正しく判断して行動し、進んで社会に奉仕できる明朗で健康な人となるように、図書館の機能を通して支援する。

情操面ではもちろんのこと、生涯学習社会、情報化社会に生きる者として、柔軟に対応できるよう、情報の持つ意味、情報の取捨選択、その利用や表現といった情報活用面についても、日常の図書館利用を通して習得することを支援する。

これらの実現のために、次のような活動を推進する。

様々な興味・関心、また多様な価値観を持つ学生・生徒・児童たちに、自由で楽しい読書の場を保障し、必要に応じた情報の提供を徹底して行う。

学生・生徒・児童の学習や自主的な活動、教職員の教育活動に対して、積極的に支援する。一層充実した情報提供ができるよう、必要な資料の収集に努める。

これらのことを円滑に行うため、図書館員は常に研鑽に努める。

2. 方針の具体化

だれもが利用しやすい図書館づくり

- ・「図書館に行ってみよう」と思われる努力と工夫をする。
- ・初めての人でも気軽に入りやすい雰囲気づくりをする。
- ・日常的に図書館を利用してもらえよう努力する。
- ・館内表示を誰が見ても分かりやすいように工夫する。
- ・障害を持っている人も利用しやすい図書館にする。
- ・図書館に対し良い印象を持ってもらえるように、特にカウンターでの対応に注意する。
- ・広く利用者の要望を図書館運営に反映させるよう努める。

資料提供を徹底的に行う

- ・利用者が図書館員に気軽に質問できる環境を整える。
- ・利用者の疑問について答える。
- ・利用者が求める資料や情報を迅速・的確に提供する。
- ・図書館員は利用者の様々な疑問に速やかに対応できるよう研鑽に努める。

リクエスト制度を理解してもらう

- ・図書館にない本は、買ってもらえることを周知徹底する。
- ・購入が困難なものは、他館から借りられることを周知徹底する。
- ・掲示などを通して広く利用者に知らせる。

新鮮で魅力的な資料の充実を心がける

- ・学生・生徒・児童が関心のある資料を積極的に購入する。
- ・授業で利用が見込まれる資料を積極的に購入する。
- ・図書館の収集方針に従い、適正な資料の充実を心がける。

授業との連携を積極的に行う

- ・教師に図書館の働きを理解してもらえよう努力する。
- ・教師に図書館を使った実践例の紹介をする。
- ・宿題等の課題は事前に把握するよう努め、速やかに資料を提供できるようにする。
- ・資料の利用方法や情報検索等の指導を通して、情報活用能力の育成に努める。

図書館を知ってもらうために広報活動を行う

- ・図書館活動について、学院関係者に周知徹底する。
- ・ホームページを利用し最新の情報を提供する。
- ・図書館報、新着案内や展示・掲示を積極的に展開する。

3．2009年度の活動重点項目

魅力ある図書館づくりを行う

- ・新着図書案内・特別展示などで図書館資料の紹介をする。
- ・ホームページを周知徹底する。
- ・利用者が参加できる図書館活動を行う。
- ・教師との連絡を密にし宿題等の課題は事前把握に努める。

4．資料収集方針（2000年2月23日策定）

<趣旨>

大阪信愛女学院図書館（以下「図書館」という）は、資料提供を通して、児童・生徒及び学生が学ぶ喜びや読む楽しさを体験できるよう援助するとともに、教職員の教育・研究活動を支援するという役割を持っている。その役割を果たしうる図書館であるために、常に利用者（児童、生徒、学生、教職員等）の声に耳を傾け、魅力ある図書館資料（以下「資料」という）の収集に心掛け、以下のような方針で資料を収集する。

<資料の範囲及び種類>

- 1．授業の補助になるもの
（授業や課題、学校行事、クラブ活動などで必要なもの。また、利用が見込まれるもの。）
- 2．調査研究に必要なもの
（利用者の調査・研究及び教育活動に必要なもの。また、利用が見込まれるもの。）
- 3．教養を高めるもの
（人格の形成及び向上に必要な、一般教養及び時事問題を扱っているもの。広い視野と多様な考えに目を開かせるもの。）
- 4．利用者が必要とするもの
（利用者の知的好奇心を刺激するもの。利用者の要求が予想されるもの。利用者のリクエストにはできる限り応じる。）

冊子体の資料の他に、デジタル資料、オーディオビジュアル資料なども適宜必要に応じて収集する。

. 運営

1 . 職員

- ・ 図書館長 岩井秀昭
- ・ 副館長 永野ゆみ子
- ・ 課長 谷嶋正彦
- ・ 係長 濱岡賢二
- ・ 司書 河野香織、金森陽子、守屋美玲
- ・ 嘱託職員 川島眞治

2 . 各校図書館教育委員

- | | 図書館教育委員 | 図書館担当職員 |
|--------|----------------------|---------|
| ・ 短期大学 | 藤本久夫、西野芳治、鈴木万里子、市川隆司 | 濱岡賢二 |
| ・ 高等部 | 高橋絵史、矢野美紀、渡辺敦、堤久人 | 谷嶋正彦 |
| ・ 中等部 | 山置裕子、藤井政也 | 河野香織 |
| ・ 小学校 | 荒井祐子、猪田めぐみ | 金森陽子 |
| ・ 幼稚園 | 馬場理香、山本悠湖、川本智可 | 守屋美玲 |

3 . 管理運営

- ・ 図書館の管理・運営総括 岩井秀昭
- ・ 図書館業務総括 永野ゆみ子、谷嶋正彦
- ・ 図書発注・受入・支払 谷嶋正彦、金森陽子
- ・ 図書の分類・目録 守屋美玲、永野ゆみ子
- ・ 図書の装備 川島眞治、守屋美玲、永野ゆみ子
- ・ 雑誌受入 濱岡賢二、河野香織
- ・ 予約・督促 濱岡賢二、河野香織
- ・ 図書館間相互貸借 濱岡賢二

4 . 図書館外業務

- ・ 図書館防災管理責任者 岩井秀昭
- ・ 図書館教育委員会 谷嶋正彦
- ・ 災害対策委員会 金森陽子
- ・ メディア教育推進委員会 河野香織
- ・ ホームページ委員会 濱岡賢二
- ・ 司書部第3地区代表 谷嶋正彦

5 . 図書館教育委員会

2004 年度に図書館教育委員会が発足した。委員は各校より選出され、図書館教育の推進という役割を担っている。2008 年度は6月6日に会議を行い、図書館活動方針の説明や活動の報告等を行った。先生方との連携のもと、相互理解を深め、学校図書館としての機能を果たしていきたい。

- 1) 2007 年度活動報告について報告・説明
- 2) 2008 年度活動方針について報告・説明
- 3) 図書館利用についてのお願い
- 4) 図書館に対する意見・要望について

6. 図書館カレンダー

4月

- ・大阪信愛女学院図書館ニュース No.7 発行 (2日)
- ・短大新生オリエンテーション実施 (3-4日)
- ・中等部・高等部の保護者に学院図書館の利用案内を配布 (7日)
- ・高等部新生オリエンテーション実施 (9日)
- ・中等部新生オリエンテーション実施 (10-11日)
- ・幼稚園の保護者に学院図書館の利用案内を配布 (11日)
- ・幼・小・中・高に平成 20 年度図書予算を通知 (15日)
- ・小学校オリエンテーション実施 (16-17・23-25日)

5月

- ・小学校オリエンテーション実施 (1・27・30日)
- ・短大予算について人間環境学科の先生には館長より説明、初等教育学科の先生にはプリントを配布 (8日)
- ・第 20 回古書展示会 (8-15日)
- ・各校へ第 1 回図書館教育委員会開催の案内 (21日)

6月

- ・館外蔵書点検 (2-3日)
- ・第 1 回図書館教育委員会 (6日)
- ・平成 19 年度図書館活動報告書 + 活動方針を各校部署主に配布 (6日)
- ・緊急専用電話の設置 (10日)
- ・平成 20 年度除籍リスト提出 (18日)
- ・中学生の北海道修学旅行関係の資料を図書館 2 階に別置 (25日)
- ・小学校入試説明会参加者図書館見学 (28日)
- ・館内蔵書点検 (30-7/17日)

7月

- ・各校に図書予算残高を通知 (2日)
- ・館外蔵書点検 (8・17・25日)
- ・高校の総合学習において、高 1「職業・資格」、高 2「沖縄・八重山諸島(修学旅行)」についてのパスファインダーを配布 (11日)
- ・中等部・高等部オープンキャンパス参加者図書館見学 (19日)

8月

- ・館内蔵書点検 (4-22日)
- ・中等部・高等部オープンキャンパス参加者図書館見学 (24日)

9月

- ・館外蔵書点検 (1-30日)
- ・中等部・高等部塾対象入試説明会参加者図書館見学 (2日)
- ・小学生 (4年) コンピュータ検索の使い方のオリエンテーション (3・5・10・12日)

- ・小学校入試説明会参加者図書館見学（6日）
- ・短大の先生に館長より「My Library」について説明（19日）
- ・4階洋書コーナーに英語多読コーナー「英語の散歩道」を設置（25日）
- ・2階カウンター横に「図書館員が薦めるこの一冊」コーナーを設置（29日）

10月

- ・各校に予算残高と図書購入申請受付期限を通知（6日）
- ・館外蔵書点検（10日）
- ・平成20年度除籍リスト提出（22日）
- ・中等部・高等部保護者対象入試説明会参加者図書館見学（25日）

11月

- ・中等部・高等部保護者対象入試説明会参加者図書館見学（22日）

12月

- ・高校1・3年生に図書館利用調査アンケート実施（6日）
- ・中学生に図書館利用調査アンケート実施（8日）
- ・高校2年生に図書館利用調査アンケート実施（17日）

1月

- ・短大生に図書館利用調査アンケート実施（8日）
- ・DVD利用時の手続きの変更（15日）
- ・平成21年度予算申請書提出（19日）

3月

- ・短大看護学科設置に伴い鶴見キャンパスメディアコーナーへ図書移動作業（2-4日）
- ・平成20年度除籍リスト提出（3日）
- ・短大看護学科設置に伴い鶴見キャンパスメディアコーナーの図書配架作業（10-12日）
- ・平成20年度図書館資料決算報告提出（23日）
- ・業者による1階フロアと1～5階トイレの清掃作業（24・26-27日）

7. 出張、研修

4月

- ・大阪府高等学校図書館研究会 第1回 司書部地区代表者会（30日 大阪府立大手前高等学校 - 谷嶋）

5月

- ・大阪府高等学校図書館研究会 第1回 司書部第3地区会（27日 大阪府立桃谷高等学校 - 谷嶋）

7月

- ・大阪府高等学校図書館研究会 第2回 司書部第3地区会（4日 京都国際マンガミュージアム - 谷嶋）

8月

- ・学校図書館問題研究会 第24回 全国大会（3-5日 山陰 - 谷嶋・金森）
- ・日本図書館協会学校図書館部会 第37回 夏季:研究集会 東京大会（8-9日 法政大学 - 谷嶋）

9月

- ・平成20年度 私立短期大学図書館協議会 全国研修会（4-5日 名古屋 - 濱岡）

10月

- ・大阪府高等学校図書館研究会 第2回 司書部地区代表者会 (1日 大阪府立大手前高等学校 - 谷嶋)
- ・「公共図書館と学校図書館の連携」についての調査 (24日 白山市教育委員会・白山市立松任図書館・学校図書館支援センター・白山市立松任小学校 - 谷嶋)
- ・大阪府高等学校図書館研究会 第3回 司書部第3地区会 (31日 此花学院高等学校 - 谷嶋)

11月

- ・平成20年度 大阪府高等学校図書館研究会 司書部 冬の研究集会 (26日 大阪府立大手前高等学校 - 金森)

12月

- ・大阪府高等学校図書館研究会 第4回 司書部第3地区会 (17日 神港学園神港高等学校 - 谷嶋)

1月

- ・大阪府高等学校図書館研究会 第3回 司書部地区代表者会 (28日 大阪府立大手前高等学校 - 谷嶋)
- ・2008年度 第56回 大阪公共図書館大会 (30日 大阪市立中央図書館 - 金森)

2月

- ・大阪府高等学校図書館研究会 第5回 司書部第3地区会 (18日 大阪信愛女学院高等学校 - 谷嶋)

3月

- ・大阪府高等学校図書館研究会 司書部総会 (3日 大阪府立大手前高等学校 - 谷嶋)

8. 土曜開館

原則として中・高の授業に対応し、第2土曜日を除き開館している。2008年度は31回土曜日開館を行った。開館時間は午前8時10分から午後3時までとし、放課後にビデオやDVDを鑑賞できる時間を設定したが、閉館時までの利用はほとんど無く、有効な利用がなされていないのが現状である。今後のさらなる広報が必要と思われる。

9. 広報活動

- ・主に学生・生徒を対象とした新着図書案内『あたらしい本』を不定期ではあるが13回発行した。また、図書館前の掲示板には新着図書案内や各種ポスターを掲示し、随時入れ替えを行っている。
- ・インターネット上の図書館のサイトには、お知らせや開館カレンダーなどを随時アップロードしている。
- ・4月の学院総合連絡会において、教職員に図書館活動について理解していただくために図書館ニュースを配布した。
- ・幼稚園では『としょかんつうしん』、小学校では『図書館だより(小学校版)』、中・高等部では『らい ぶらり(中・高版)』『図書館ニュース(先生方へ)』、短大では『らい ぶらり短大版』を発行した。

10. 学外者利用

2003年度より学外者利用規定を施行し、これまでの保護者・卒業生に加えて学外者にも図書館開放を行っている。2008年度は、利用登録が1名あり、資料閲覧のための来館が4件あった。

．全体統計資料

1．蔵書冊数(2009年3月31日現在)

短期大学	高等部	中等部	小学校	幼稚園	合計
98,848	48,028	12,944	15,553	5,151	180,524

* 蔵書数には図書・ビデオ・DVD・LD・CD・カセットを含む。

2．年間受入資料数

	短期大学	高等部	中等部	小学校	幼稚園	合計	
購入	冊数	2,913	1,475	630	715	262	5,995
	金額	7,199,952	2,199,975	799,907	999,887	299,276	11,498,997
寄贈	冊数	506	141	60	24	35	766
	金額	882,803	143,437	33,137	26,282	45,847	1,131,506
合計	冊数	3,419	1,616	690	739	297	6,761
	金額	8,082,755	2,343,412	833,044	1,026,169	345,123	12,630,503

* 詳細は各校の年間受入資料数を参照のこと。

3．除籍冊数

短期大学	高等部	中等部	小学校	幼稚園	合計
1,328	1,495	396	615	464	4,298

2008年度も古本・不明本・破損本の除籍を行った。中・高・短大の古本は分野を問わず、地下電動書架の受入年が古く利用のない本を整理し、幼稚園は図書室と保育室の古本を中心に除籍を行った。

除籍した図書は古書展示として利用者に提供している。

4．購読雑誌・新聞数

	日本語	外国語	合計
雑誌	153種	2種	155種
新聞	12種	1種	13種

5．開館日数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(日)
19	22	24	25	7	23	25	22	18	20	22	15	242

6．文献複写依頼件数

	件数	依頼者数
発注	20	3
受注	6	

7. 図書の館外貸借冊数

	国公立大学	私立大学	その他	合計
貸出	5	9	56	70
借用	0	0	68	68

その他とは、公共図書館・各種研究所のことを言う。

8. 貸出統計(5年間の推移)

貸出冊数及び1人当たりの貸出数

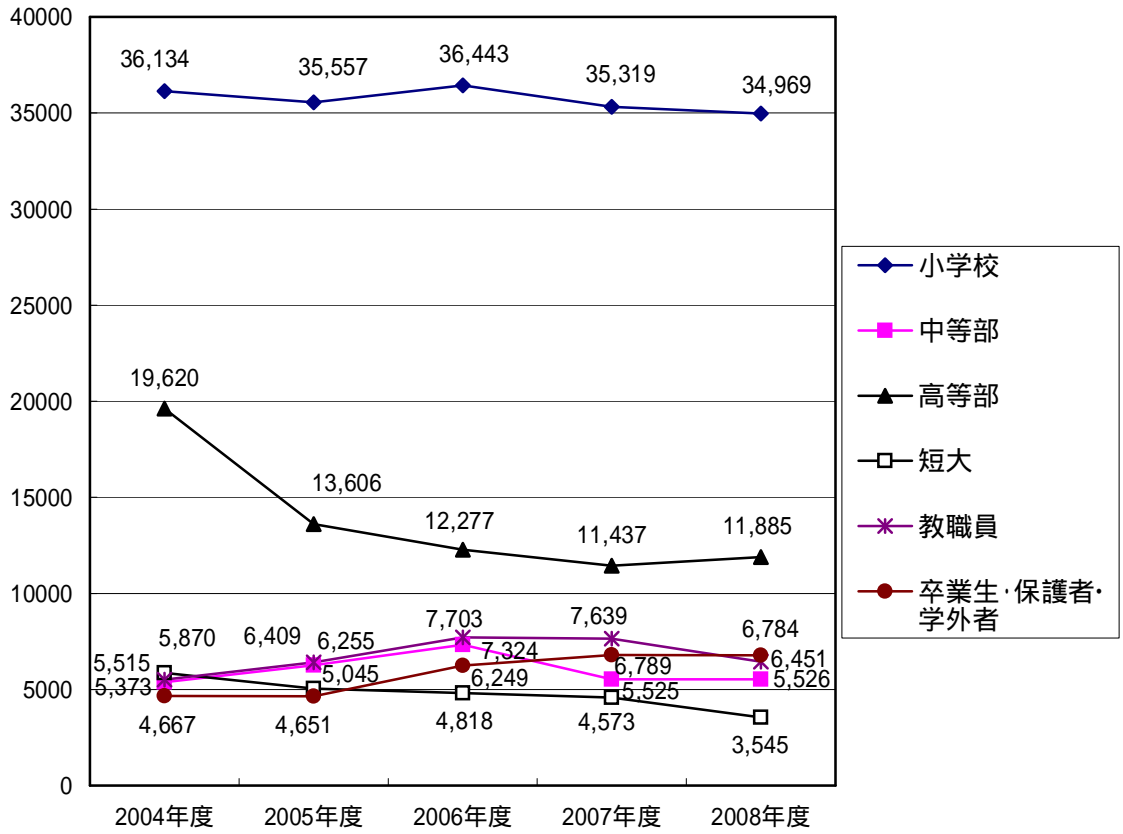
		2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度
対象人数(人)	小学校	547	542	544	530	527
	中等部	358	328	294	289	316
	高等部	897	801	724	658	587
	短大	394	386	377	317	287
	教職員	267	267	271	269	270
	卒業生・保護者・学外者	474	467	336	293	399
	合計	2,937	2,791	2,546	2,356	2,386
貸出冊数(冊)	小学校	36,134	35,557	36,443	35,319	34,969
	中等部	5,373	6,255	7,324	5,525	5,526
	高等部	19,620	13,606	12,277	11,437	11,885
	短大	5,870	5,045	4,818	4,573	3,545
	教職員	5,515	6,409	7,703	7,639	6,451
	卒業生・保護者・学外者	4,667	4,651	6,249	6,789	6,784
	合計	77,179	71,523	74,814	71,282	69,160
1人当たり 貸出冊数(冊) (小数点第一位 四捨五入)	小学校	66	66	67	67	66
	中等部	15	19	25	19	17
	高等部	22	17	17	17	20
	短大	15	13	13	14	12
	教職員	21	24	28	28	24
	卒業生・保護者・学外者	10	10	19	23	17
	平均	26	26	29	30	29

* 2005年4月より開館時間の変更(平日8:10~17:30、土8:10~15:00)

* 2006年7月3日~24日まで開館時間延長試行期間(平日8:10~18:30)

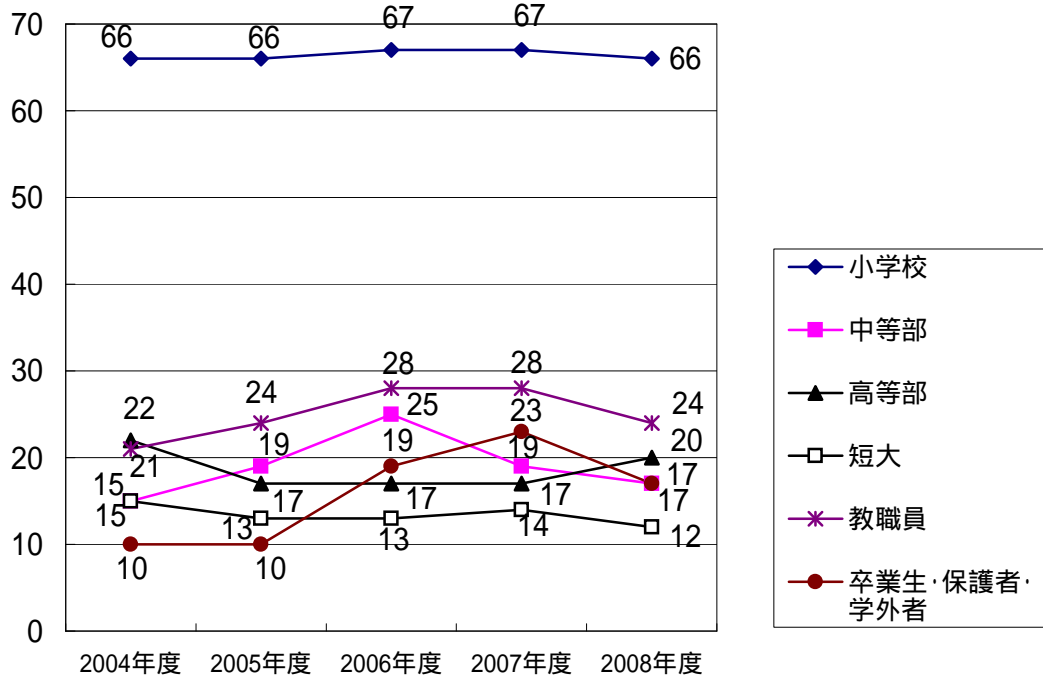
学校別貸出冊数推移

(単位:冊)



(単位:冊)

一人当たり貸出冊数



分類別貸出冊数

	総記(000)	哲学(100)	歴史(200)	社会科学(300)	自然科学(400)
小学校	59	499	1,749	861	1,848
中等部	8	124	55	104	162
高等部	22	325	420	472	520
短大	0	55	13	1,298	102
教職員	89	375	561	989	402
卒業生・保護者・学外者	63	306	301	562	363
合計	241	1,684	3,099	4,286	3,397

	技術(500)	産業(600)	芸術(700)	言語(800)	文学(900)
小学校	1,511	1,034	1,231	512	25,665
中等部	185	101	2,057	129	2,540
高等部	411	151	4,101	544	4,831
短大	137	29	1,023	10	875
教職員	238	149	1,769	298	1,391
卒業生・保護者・学外者	378	39	1,457	148	3,059
合計	2,860	1,503	11,638	1,641	38,361

資料別貸出数

		2004年度		2005年度		2006年度		2007年度		2008年度	
中等部	図書	4,108	76%	5,002	80%	5,961	81%	4,682	85%	4,380	79%
	視聴覚	1,265	24%	1,253	20%	1,363	19%	843	15%	1,146	21%
高等部	図書	14,166	72%	10,623	78%	9,301	76%	9,294	81%	9,556	80%
	視聴覚	5,454	28%	2,983	22%	2,976	24%	2,143	19%	2,329	20%
短大	図書	4,932	84%	4,194	83%	4,095	85%	3,822	84%	2,915	82%
	視聴覚	938	16%	851	17%	723	15%	751	16%	630	18%
教職員	図書	4,470	81%	4,921	77%	5,874	76%	5,973	78%	5,207	81%
	視聴覚	1,045	19%	1,488	23%	1,829	24%	1,666	22%	1,244	19%
卒業生・保護者・学外者	図書	4,282	92%	4,362	94%	5,605	90%	6,099	90%	6,265	92%
	視聴覚	385	8%	289	6%	644	10%	690	10%	519	8%

* 小学校は図書のみ利用のため対象外とする。

* 視聴覚資料とはCD・カセット・ビデオ・LD・DVD等、印刷メディア以外の資料を指す。

* 右欄のパーセント(%)は全貸出数に占める割合を示す。小数点第一位四捨五入。

9. 資料別予約件数

		2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度
中等部	図書	272	269	354	311	237
	CD	97	44	101	48	85
高等部	図書	1,163	623	480	556	398
	CD	232	94	131	96	190
短大	図書	41	22	49	52	15
	CD	7	7	7	1	2
教職員	図書	384	408	477	586	475
	CD	10	10	14	11	5
卒業生・保護者・学外者	図書	59	67	63	66	88
	CD	0	2	8	5	8
合計	図書	1,919	1,389	1,423	1,571	1,213
	CD	346	157	261	161	290
	総計	2,265	1,546	1,684	1,732	1,503

* 教職員のみ、CDにDVDなどの視聴覚資料も含む。

10. 購入希望受付件数

	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度
中等部	57	49	167	115	135
高等部	494	520	314	288	591
短大	20	6	49	14	16
合計	571	575	530	417	742

* 教職員は購入申請のため除く。

* 卒業生・保護者・学外者の購入希望は受け付けていないため除く。

* 絶版などで入手できなかったものも含む。

11. 館内施設利用件数

研究室利用件数（過去5年間）

	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度
学習	521	706	618	594	655
中等部	56	37	139	144	184
高等部	436	609	427	409	407
短大	18	57	47	27	39
初等教育	17	47	46	25	32
人間環境	1	10	1	2	7
卒業生・保護者・学外者	11	3	5	14	25
ビデオ・DVD	518	571	715	765	715
中等部	133	123	256	248	229
高等部	337	380	320	409	342
短大	35	57	132	103	126
初等教育	29	46	107	100	121
人間環境	6	11	25	3	5
卒業生・保護者・学外者	13	11	7	5	18
全利用回数	1,039	1,277	1,333	1,359	1,370

* グループでの利用は1回とする。

C D機器利用件数（過去5年間）

	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度
	22	8	18	17	17
高等部	71	6	11	16	20
短大	3	17	6	11	14
初等教育	3	17	5	11	8
人間環境	0	0	1	0	6
卒業生・保護者・学外者	0	0	1	2	1
合計	96	31	36	46	52

インターネット利用件数(過去5年間)

	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度
中等部	-	186	822	1,295	1,478
高等部	-	171	180	277	444
短大	-	2	3	1	7
初等教育	-	2	1	0	7
人間環境	-	0	2	1	0
卒業生・保護者・学外者	-	0	2	4	1
合計	-	359	1,007	1,577	1,930

* インターネット利用のカウントは、昼休みと放課後のみとしている

* 2005年1月よりインターネットを申し込み制にしたため、2004年度のデータは空欄とする。

研究室利用、CD機器利用ともに2007年度に比べ増加している。研究室利用に関しては、中学生の学習での利用が増えている。ビデオ・DVD鑑賞での利用は、短大において若干増加している。インターネット利用に関しては、中・高生の利用が多く、中学生の利用は高校生の約3倍である。

資料の貸出数は2007年度に比べ高等部において増加しており、図書館利用が増えてきたのは喜ばしいことである。一方、短大は減少傾向にあり気になるところである。

利用者が求める資料の充実を図り、利用しやすい環境作りにより、図書館利用と貸出を促進していきたい。

. 短期大学活動報告・統計

1. 活動報告

1) 新入生オリエンテーション

1 回生オリエンテーションガイダンス期間中に、初等教育学科は 23-24 名 4 グループ、人間環境学科は 10 名 3 グループに分けて、50 分間の図書館利用ガイダンス（利用説明、館内ツアーなど）を実施した。また、人間環境学科のみ鶴見学舎において、10 分間のメディアコーナーの利用案内を実施した。

2) 研究室蔵書点検

両学科とも 9 月に各研究室の蔵書点検を行った。

3) 鶴見学舎メディアコーナー

2009 年度より看護学科設置のため、人間環境学科関連の図書購入は控えた。

また、2009 年 3 月に看護学科の図書に入れ替えるため、人間環境学科関連図書を中心にほとんどの資料を本館に移管した。そのため、2007 年度末には 6,379 冊の蔵書であったが、入替え後 4,851 冊と減少している。しかし、設置準備段階であり今後数年の間に資料数が急増すると思われる。

2. 図書予算決算報告

寄贈図書を含まない 2008 年度の受入資料数は、2,913 冊 7,199,952 円で、学生一人当たりになると約 10.15 冊 25,087 円になる。

2009 年度より看護学科設置のため、人間環境学科の図書購入を 111 冊と購入を控え、看護学科の図書を 552 冊購入した。看護学科関連の図書 1 冊あたりの単価は専門書が多く約 3,785 円と高価なものが多いことがわかる。

図書館での選書冊数は、例年は 70-80% と多くを占めていたが、2008 年度は看護学科用資料購入準備のため図書館での選書・購入を控えの約 60% と低くなっている。

初等教育学科に関しては購入冊数・執行金額とも 2007 年度とほぼ変化はない。

*** 決算報告書 ***

科目名	執行額				
	冊数	金額			
初等教育	310	946,870			
人間環境	111	276,374			
看護	552	2,089,623			
参考図書	107	881,451			
図書館	1,675	2,554,248			
図書館同和	2	5,255			
小計	2,757	6,753,821			
入試部			中嶋研	14	36,871
教務課	2	6,048	西野研		
学生課			馬場研		
同和教育	1	4,200	平田研		
情報教育	4	7,899	藤本研	6	13,702
卒業研究	20	36,763	宮崎研	1	26,932
児童教育研究所			吉田研		
環境総合研究所	1	2,646	吉中研		
アラン研	4	32,980	足高研	2	25,200
飯田研	18	28,834	足立研	21	40,317
岩井研	15	38,840	市川研	16	38,817
奥田研			上田研	6	17,198
高坂研			佐久研	8	39,179
佐嶋研	1	2,160	鈴木研	3	14,660
芝研			高井研	2	12,190
種谷研			田中研	4	7,654
長尾研	7	13,041	合計	2,830	6,927,232

3. 蔵書冊数

98,848 冊（2009 年 3 月 31 日現在）

<学生一人当たり購入冊数/10.15冊 金額/25,087円>

4. 年間受入資料数

分類番号	一般図書	参考図書	絵本	紙芝居	楽譜	マンガ	推薦図書	C D	ビデオ	DVD	CD-ROM	合計
総記 000	80 286,288	17 115,560	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	2 6,111	0 0	99 407,959
哲学 100	202 446,593	6 44,870	0 0	0 0	0 0	1 1,890	0 0	1 1,871	0 0	1 3,420	0 0	211 498,644
歴史 200	130 207,312	16 226,659	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	2 7,541	0 0	148 441,512
社会科学 300	840 1,318,622	24 182,646	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	9 34,941	0 0	873 1,536,209
自然科学 400	956 2,572,002	37 287,553	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	7 167,990	1 18,480	1,001 3,046,025
技術 500	170 256,894	2 32,467	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	4 19,955	0 0	176 309,316
産業 600	86 145,785	1 4,200	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	1 500	2 27,404	1 9,450	0 0	91 187,339
芸術 700	250 460,590	3 43,020	0 0	0 0	43 99,529	16 11,796	0 0	34 79,874	0 0	30 91,846	2 5,859	378 792,514
言語 800	53 82,619	24 130,247	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	3 9,639	80 222,505
文学 900	309 525,869	5 35,248	17 20,414	15 20,269	0 0	0 0	0 0	16 38,932	0 0	0 0	0 0	362 640,732
合計	3,076 6,302,574	135 1,102,470	17 20,414	15 20,269	43 99,529	17 13,686	0 0	52 121,177	2 27,404	56 341,254	6 33,978	3,419 8,082,755

(上段：冊数、下段：金額) 寄贈図書を含む

和洋別受入数

	購 入		寄 贈		そ の 他		合 計	
	冊数	金 額	冊数	金 額	冊数	金 額	冊数	金 額
和書	2,886	7,047,998	286	617,657	213	248,590	3,385	7,914,245
洋書	27	151,954	7	16,556	0	0	34	168,510
合計	2,913	7,199,952	293	634,213	213	248,590	3,419	8,082,755

年間受入資料数は、3,419冊 8,082,755円で一冊平均2,364円である。2009年度設置の看護学科関連の図書を多く受入れたため、購入冊数が2007年度より260冊少なく、1冊平均単価が200円程度上がっている。また、看護学科関連の寄贈図書が増加し、寄贈図書数が2007年度より230冊、金額で約56万円分多くなっている。

5. 貸出冊数

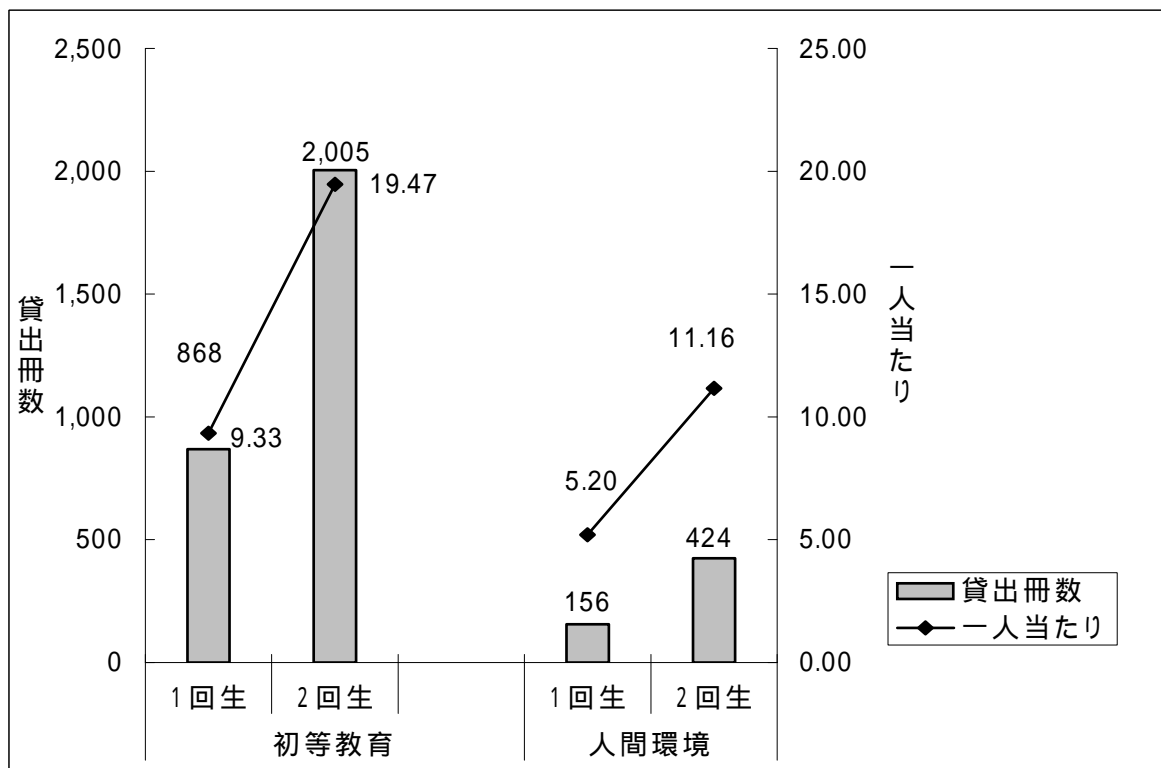
貸出冊数及び一人当たりの貸出数（過去5年間）

	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度
対象人数（人）	394	386	359	317	287
貸出冊数（冊）	5,870	5,045	4,534	4,573	3,545
1人当たり貸出冊数（冊）	14.88	13.07	12.62	14.43	12.35
初教1人当たり	17.47	13.50	15.46	17.16	14.66
人環1人当たり	7.96	7.36	5.22	6.34	8.53

資料別貸出数（過去5年間）

	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度
図書	4,932	4,194	4,095	3,822	2,915
A V資料	938	851	723	751	630
合計	5,870	5,045	4,818	4,573	3,545

学科・学年別貸出数



初等教育学科学年別統計

学年	0分類	1分類	2分類	3分類	幼児教育	4分類	5分類	6分類	7分類	CD類	8分類	9分類	絵本	分類無	合計
1回生	0	16	4	349	236	33	39	6	175	89	6	240	195	0	868
2回生	0	5	2	848	634	52	83	11	502	249	4	495	398	3	2,005

* 幼児教育（376.1-）は3分類の冊数に含まれる。

* CD類は7分類の冊数に含まれる。

* 絵本は9分類の冊数に含まれる。

人間環境学科学年別統計

学年	0分類	1分類	2分類	3分類	4分類	5分類	6分類	7分類	CD類	8分類	9分類	分類無	合計
1回生	0	2	1	23	7	15	1	40	37	0	67	0	156
2回生	0	31	6	45	10	0	2	265	218	0	65	0	424

鶴見学舎メディアコーナーの年間貸出冊数

初教1	初教2	人環1	人環2	合計
2	4	24	54	84

2008年度の貸出数は、2007年度に比べ約1,000冊減少している。

一人当たりの貸出数は過去5年間の平均値15.9冊より下回っている。特に初等教育学科1回生では1年間に1冊以上借りた学生が2007年度74%あったが65%と落ち込んでいる。

初等教育学科は例年1回生の貸出冊数が2回生の貸出数の半分程度であるが、2008年度はその約40%と減少している。分野的には絵本・幼児教育関係等、教育実習・保育士コース等に関する貸出が多く、特に1・2回生共に9分類の貸出冊数の中で絵本・紙芝居の利用率が80%以上となっている。また、3分類の幼児教育関連資料が1・2回生共に70%程度を占めている。

初等教育学科の一人当たりの貸出数が大幅に減少しているのに対し、人間環境学科の一人当たりの貸出数が増加している。

人間環境学科は、1回生で学科関連の3・4・5分類の資料がある程度借りられているが、2回生では学科関連資料の貸出はそれ程でもなく、貸出総数の半数はCDである。

また、メディアコーナーでの貸出は人間環境学科関連図書中心に配架しているにもかかわらず貸出数全体の15%以下である。

6.まとめ

2008年度の特徴は、2009年度看護学科設置に向けた準備の年として、設置認可が下りる10月頃まで図書館選書の資料購入を控えたことと、看護学科関連の図書を多く受入れ、また、その寄贈図書が多くあったことがあげられる。

看護学科は過去に無い分野のため現在学科関連資料数は少ないが、今後の学年・学生数増に向けて多くの資料を購入し充実する必要がある。そのためには選書・蔵書構成等に関する図書館員の研修も必要である。予算が減額されていく中で、1冊単価が高額な図書が多く、初等教育学科の資料購入を圧迫しないように注意が必要である。また、新規医療系データベースの利用法・学生への利用指導など、教員と連携し、より充実した教育環境を提供できるように努めていきたい。

．高等部活動報告・統計

1．活動報告

1) オリエンテーション

オリエンテーション期間中に外部生を対象に50分を用い、1グループ12～15名に1人の館員がつき、館内ツアーと図書館ガイドブックによる利用案内を行った。

2) 教科との連携

- ・2年生の総合学習において、パスファインダー『「沖縄」「八重山諸島」に関する資料の探し方～修学旅行の事前学習に向けて～』を全員に配布し、調べ学習に供した。
- ・1年生の総合学習において、パスファインダー『「職業」「資格」に関する資料の探し方～未来の仕事を探せ～』を全員に配布し、調べ学習に供した。
- ・3年生の生物、家庭の授業において実施された調べ学習では、図書館の資料を使ったレポート課題が出された。
- ・美術の授業では美術書が良く利用された。

3) 図書委員会活動

高校図書委員会は各クラスより2名の委員が選出され、計36名で組織されていた。しかしながらあまり活動できていない。

<選書>

図書委員がクラス全員に購入希望図書を調査し、「高校図書委員会購入希望調査カード」に記入後図書館に提出している。購入後図書館は個別に申請した生徒に連絡した。

4) 広報活動

広報紙『らい ぶらり』を毎月発行し、全生徒・全教職員に配布し、図書館利用や貸出の促進を図った。教員への広報紙『図書館ニュース(先生方へ)』を4回発行し、購入申請方法・予算残高のお知らせや図書館活動などを紹介した。

また、「テーマ展示」「図書館員が薦める今週の一冊」など実物展示による広報活動を実施した。

2．図書予算決算報告

科目名	冊数	金額
高校図書	455	918,136
図書館	555	681,683
同和教育	1	2,835
リクエスト	333	293,886
視聴覚リクエスト	131	303,435
合計	1,475	2,199,975

一人当たりの購入数 / 2.51 冊 金額 / 3,748 円

購入資料数(寄贈資料を除く)は1,475冊、2,199,975円である。一人当たりの購入数は2.51冊、3,748円であり、2007年度と予算が同額なのに生徒数が減少している分増加している。

2008年度の先生方による購入申請(高校図書)冊数は全体の31%で2007年度より3%減少しているが、予算内で購入できなかったものは中等部の予算で購入している。また、クラブ活動(ソフトボール、バスケットボール)の指導用DVDを購入した。

生徒からの購入希望冊数(リクエスト、視聴覚リクエスト)は40%以上増加している。実際にはこれ以上の購入希望があったが、高等部の予算では全ての希望をかなえることが出来ず、一部を中等部の予算で購入し、また発行年の古いものは公共図書館から借りて提供した。

3. 蔵書冊数

48,028冊(2009年3月31日現在)

4. 年間受入資料数

分類番号	一般図書	参考図書	絵本	紙芝居	楽譜	マンガ	カセット	C D	ビデオ	D V D	CD-ROM	合計
総記 000	10 10,827	3 13,672	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	13 24,499
哲学 100	147 167,436	0 0	0 0	0 0	0 0	1 1,140	0 0	2 3,288	0 0	2 13,140	0 0	152 185,004
歴史 200	123 207,876	2 6,048	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	125 213,924
社会科学 300	131 141,405	6 72,460	0 0	0 0	0 0	1 945	0 0	0 0	0 0	1 62,370	0 0	139 277,180
自然科学 400	85 111,853	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	85 111,853
技術 500	38 39,895	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	38 39,895
産業 600	26 30,650	1 1,587	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	27 32,237
芸術 700	74 160,049	0 0	0 0	0 0	6 16,441	36 20,863	0 0	135 313,326	0 0	24 133,958	0 0	275 644,637
言語 800	94 118,357	1 5,670	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	2 45,360	97 169,387
文学 900	658 603,452	3 35,721	4 5,623	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	665 644,796
合計	1,386 1,591,800	16 135,158	4 5,623	0 0	6 16,441	38 22,948	0 0	137 316,614	0 0	27 209,468	2 45,360	1,616 2,343,412

(上段：冊数、下段：金額) 寄贈図書を含む

年間受入資料数は、1,616冊、2,343,412円、一冊平均1,450円で、2007年度より受入冊数が増加し一冊の平均単価が減少している。

受入資料の約86%が一般図書である。傑作文学を漫画化した「まんがで読破」シリーズを購入したため、マンガが38冊と少し増えている。

分野別に見ると文学が41%と毎年最も多くを占めており、続いて芸術が17%となっている。内容的には文学が研究書・小説・文庫本で読み物が中心であり、芸術の約半数がCDとなっている。

今後も、よりよい資料提供を行うために、蔵書構成に留意し購入を図っていきたい。

5. 貸出冊数

貸出冊数及び一人当たりの貸出数（過去5年間）

	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度
対象人数（人）	897	801	724	658	587
貸出冊数（冊）	19,620	13,606	12,277	11,437	11,885
1人当たり貸出冊数（冊）	21.87	16.99	16.96	17.38	20.25

学年別貸出数（過去5年間）

	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度
1年	5,684	4,519	3,541	4,636	4,830
2年	7,031	4,082	4,287	2,913	4,428
3年	6,905	5,005	4,452	3,888	2,627

学年別一人当たりの貸出数（過去5年間）

	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度
1年	21.3	18.2	16.2	23.2	26.8
2年	23.6	15.6	17.4	13.5	22.5
3年	20.8	17.2	17.2	16.1	12.5

資料別貸出数（過去5年間）

	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度
図書	14,166	10,623	9,301	9,294	9,556
A V資料	5,454	2,983	2,976	2,143	2,329
合計	19,620	13,606	12,277	11,437	11,885

分類別貸出冊数

総記(000)	哲学(100)	歴史(200)	社会科学(300)	自然科学(400)
22	325	420	472	520
技術(500)	産業(600)	芸術(700)	言語(800)	文学(900)
411	151	4,101	544	4,831

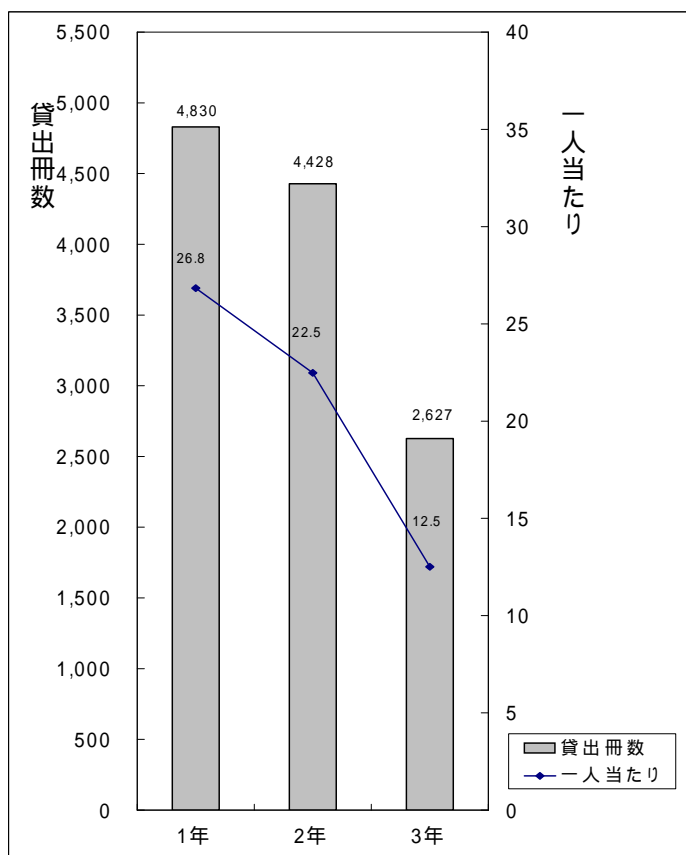
一人当たりの貸出冊数は、2005年度以降減少傾向にあったが、2008年度は全体で20.25冊と増加した。学年別一人当たりの貸出数の推移を見ると1・2年生の貸出が増えたことがわかる。3年生は1年生のときからあまり利用が多くなかった学年だった。

貸出数を資料別で見ると、約80%が図書になっている。分類別では、文学が41%と高く、続いて芸術が35%であり、両分野で76%を占めている。その内容を見ると例年同様、文学においては小説・文庫本・学習参考書、芸術においては音楽CD・楽譜・美術関係の本が多くなっている。

特に注目すべきは、自然科学の増加である。2007年度と比べると2倍以上になっており、また社会科学・産業も増加している。これは3年生の生物の授業で課題研究が実施されたことが影響している。

引き続き生徒のニーズを把握し、求める資料の提供や広報活動に努め、貸出を伸ばしていきたい。

学年別貸出数



2008 年度卒業生の 3 年間の利用状況

3年間で100冊以上借りた人
21人(210人中)

3年間で一番多く借りた人
675冊

3年間で1冊も借りなかった人
12人(210人中)

6. まとめ

2007年度は全体的に図書館の利用が増加している。広報紙『らいぶらり』を全生徒へ配布、新着図書案内『あたらしい本』の発行、「テーマ展示」「図書館員が薦める今週の1冊」の実施や、予約・購入希望など生徒のニーズに応える資料提供への取り組みが、利用増の数字に表れていると思われる。

分野別の貸出数に表れているように、少しでも図書館の資料を使用した授業が実施されることで、貸出の内容に変化が見られる。授業を通して図書館が活用されると、利用者や利用資料の内容が広がる。この時に資料の利用方法や情報検索などを指導することが出来れば、より情報活用能力の育成につながると考えられる。

読書傾向としては、中学時代は携帯小説が多くなっているが、高校生になると読む小説も多様になり、一部の映画・ドラマなどの原作本を除くと幅広く読んでおり一部の作品に集中することは少なくなる。「図書館利用アンケート調査」の「好きな作家」「最近読んで面白かった作品」の項目でも、多くの作家名・作品名が挙がっており、読書傾向の多様化が読み取れる。

今後も先生方と図書館員が協力し、生徒に対し様々な働きかけを行い、読書活動や図書館利用が活発になるよう努めていかなければならない。是非とも先生方には授業での図書館活用をお願いしたいものである。

． 中等部活動報告・統計

1．活動報告

1) オリエンテーション

4月10・11日に1年生全員を対象に1クラスを8～10名のグループに分け、図書館ガイドブックに基づき50分間の利用案内と館内ツアーを行った。

2) 教科との連携

図書館活動方針の2007年度の活動重点項目に、図書館を使った授業実践例の紹介などを掲げていた。授業との連携は行えなかったが、1年生の国語・英語・理科、2年生の美術、3年生の国語・理科・家庭科の授業において調べ学習の利用があった。

2009年度も引き続き先生方一人一人への働きかけを行っていきたい。

3) 広報活動

広報誌『らい ぶらり』を毎月発行し全生徒・全教職員に配布している。配布すると直ちに「この本どこにある?」「お母さんがこの本読みたいって」などの反響が必ずあるが、利用拡大にはつながっていないようである。

また、教職員への広報誌『図書館ニュース(先生方へ)』を全教職員に学期に1～2回配布し、購入申請方法・予算残高のお知らせや図書館活動などを紹介した。

4) 資料の別置

「修学旅行」関連資料(6-7月)を2階カウンター横に別置した。

5) その他

中学生は総退出時間が設定されており、それ以後に居残りを希望する生徒は、カウンターの「図書館居残り届」に必要事項を記入することで放課後の利用が認められている。

2008年度の居残り届提出者数は延べ2,014名と、放課後の図書館利用が年々増加している。しかしながら貸出数には結びついていないようである。これは、図書館でインターネットや学習などでの研究室だけ利用する生徒が増えているからだと思われる。

2．図書予算決算報告

科目名	冊数	金額
中学校図書	223	240,760
図書館	292	467,296
同和教育	0	0
リクエスト	115	91,851
合計	630	799,907

一人当たり購入数約1.9/冊 金額約2,531/円

2008年度の購入資料数(寄贈図書を除く)は、630冊799,907円である。一人当たりの購入数は、約1.9冊2,531円である。

図書館での選書が全体購入冊数の約 46%を占めており、2007 年度の約 68%より減少している。その分先生方からの購入申請（中学校図書）図書冊数は、2007 年度の約 17%から約 35%と増加しており喜ばしいことである。今後も授業・研究に必要な図書、生徒に推薦する図書など幅広い分野における積極的な購入申請をお願いしたい。

生徒からの購入希望冊数（リクエスト）は 2007 年度の約 14%から約 18%と僅かながら増加している。絶版などで入手出来ない図書については、公共図書館から借り受け提供を行った。

3. 蔵書冊数

12,944 冊（2009 年 3 月 31 日現在）

4. 年間受入資料数

分類番号	一般図書	参考図書	絵本	紙芝居	楽譜	マンガ	カセット	C D	ビデオ	DVD	CD-ROM	合計
総記 0 0 0	7 10,301	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	7 10,301
哲学 1 0 0	21 24,336	0 0	0 0	0 0	0 0	2 1,890	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	23 26,226
歴史 2 0 0	25 43,285	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	25 43,285
社会科学 3 0 0	83 146,094	1 900	0 0	0 0	0 0	1 718	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	85 147,712
自然科学 4 0 0	41 68,667	2 5,765	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	43 74,432
技術 5 0 0	27 40,013	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	27 40,013
産業 6 0 0	35 75,811	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	35 75,811
芸術 7 0 0	27 51,317	0 0	0 0	0 0	0 0	7 7,325	0 0	12 33,503	0 0	4 18,925	0 0	50 111,070
言語 8 0 0	60 49,804	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	60 49,804
文学 9 0 0	256 209,710	0 0	69 37,080	0 0	0 0	0 0	0 0	10 7,600	0 0	0 0	0 0	335 254,390
合計	582 719,338	3 6,665	69 37,080	0 0	0 0	10 9,933	0 0	22 41,103	0 0	4 18,925	0 0	690 833,044

（上段：冊数、下段：金額）寄贈図書を含む

年間受入資料数は、690 冊 833,044 円で一冊平均 1,207 円である。

毎年のことながら 9 分類（文学）の受入れが最も多くなっており、2008 年度も受入資料の約 49%を占める結果となってしまった。

そのうちの約 37%が一般書である。内容的には生徒の読み物が中心になっており、購入希望の文庫本や話題の小説が大半を占めている。絵本の 10%は洋書の絵本で、先生方からの購入申請（中学校図書）のものである。図書館 4 階洋書コーナーの一角に英語多読コーナー『英語の散歩道』（中学生レベルの簡単なものから、大学受験レベルの読み物までの本が集められている）が置かれている。

2009 年度も引き続き全体構成を意識して選書に際して全体のバランスを今一度考慮するように努めなければならないと考えている。

5. 貸出冊数

貸出冊数及び一人当たりの貸出数（過去5年間）

	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度
対象人数（人）	358	328	294	289	316
貸出冊数（冊）	5,373	6,255	7,324	5,525	5,526
1人当たり貸出冊数(冊)	15.01	19.07	24.91	19.12	17.49

資料別貸出数（過去5年間）

	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度
図書	4,108	5,002	5,961	4,682	4,380
A V資料	1,265	1,253	1,363	843	1,146
合計	5,373	6,255	7,324	5,525	5,526

分類別貸出冊数

総記(000)	哲学(100)	歴史(200)	社会科学(300)	自然科学(400)
8	124	55	104	162

技術(500)	産業(600)	芸術(700)	言語(800)	文学(900)
185	101	2,057	129	2,540

クラス別貸出冊数

	A組	B組	C組	D組	合計
1年	1,293	688	479	231	2,691
2年	309	117	620	428	1,474
3年	330	395	206	430	1,361

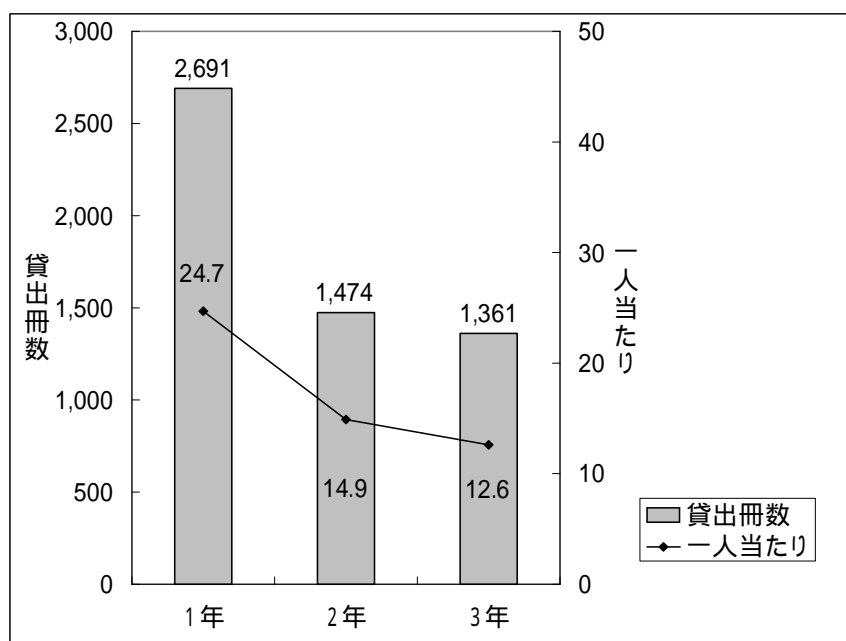
学年別貸出数（過去5年間）

	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度
1年	1,382	2,518	3,001	1,784	2,691
2年	1,465	2,033	2,291	1,667	1,474
3年	2,526	1,704	2,032	2,074	1,361

学年別一人当たりの貸出数（過去5年間）

	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度
1年	13	28.6	28.3	18.2	24.7
2年	10.6	19.4	27	15.6	14.9
3年	22.2	12.6	19.7	24.7	12.6

学年別貸出数



一人当たりの貸出数は2007年度以降減少傾向にあり、2008年度は平均17冊である。

資料別貸出数を見ると図書が約79%、AV資料が21%である。2007年度より図書が6%減少し、その分AV資料が増加している。

分類別貸出数を見ると9分類(文学)、7分類(芸術)の順に多くなっており、全体の貸出冊数の約83%を占めている。これらのお大半が生徒からの購入希望として出されたものであると考えられる。

クラス別貸出数を見ると学年・クラスにより多少ばらつきが見受けられる。これは、クラスに図書館をよく利用し、資料を借りていく生徒がいるかどうかによると思われる。

学年別貸出数を見ると学年が進むにつれ貸出が減少している。その中でも1年生と2・3年生の貸出数の差が大きいのが気にかかることである。

6.まとめ

総退会後の居残りを希望し「図書館居残り届」の届出者は年々増加しており、様々な形で図書館の利用が多くなっていることは喜ばしいことである。しかし、放課後の利用は増えているように思われるが、貸出数の増加には結びついていないようである。昼休みや放課後の利用状況から推察すると、インターネットの利用目的での来館が多くなっているようである。この図書館でのインターネット利用者を、読書活動に結びつけるような取り組みを考えなければならない。

先生方からの購入申請(中学校図書)が2007年度に比べて増加している。しかし、図書館での選書が半数近くである。図書館での選書では、蔵書のバランスを取るのが難しい状況であり、先生方の協力が必要である。今後も各自の授業・研究に必要な図書、生徒に推薦する図書など幅広い分野における積極的な購入申請をお願いしたい。それと同時に、2008年度に調べ学習で利用のあった教科以外の利用にも発展していくよう先生方といろいろな面で連携を図りながら、支援を行っていききたい。

・小学校活動報告・統計

1. 活動報告

1) オリエンテーション

2年生以上の各クラスで最初の「図書の日」に図書館のきまりとして、貸出・返却・利用マナーなどを説明した。2年生ではリクエストについて、4年生以上には貸出カードの個人管理についての注意を加えて行っている。1年生は4月終わりに学校探検で図書館訪問、5月の初旬にはじめての貸出をする。このときにオリエンテーションとして貸出手続きのみ説明する。

9月にはコンピュータの授業時間に協力いただき、小学校の多目的室で4年生を対象にコンピュータ検索のオリエンテーションを行った。

2) 図書館サービス

図書館が行ったレファレンス、授業との連携、読み聞かせ・本の紹介などには下記のものがあつた。

- ・3年生のオリエンテーション時に国語単元に出てくるまどみちおと谷川俊太郎の詩集を紹介
- ・毎年恒例の体験学習の広島(5年)や修学旅行の関東(6年)の資料集め
- ・1年生のオリエンテーション時に絵本の読み聞かせ
- ・6年生の先生よりや読書感想文の書き方や「夏休みにすすめる本」のブックトーク
- ・3年生児童から担任を通して「家に咲いていた花の名前が知りたい」というレファレンスを受ける。手がかりは不鮮明な写真しかなく回答に時間がかかったが、図鑑や花、ガーデニングなどの資料から名前が判明し伝えることができた。
- ・視聴覚委員会より図書館の地下についての取材を受ける。なぜ地下があるのか、どのようなものが置かれているのかなど。
- ・1年3クラスで国語単元に関連して民話の読み聞かせ
- ・教育会広報委員会で発行している「教育会だより」に図書館からの推薦本を掲載するということで、学期毎に広報委員の保護者の方へいくつかのテーマで本の準備や紹介(推薦文は広報委員の方が書かれた)

上記の他にも先生方から教科単元に関する資料集めの依頼は毎月いろいろな教科であつた。読み聞かせやブックトーク、本の紹介などではあまり関わらなかつた。調べ学習に使えるような本や児童に読んでほしい本を優先して購入受入しているが、それらの紹介が不足していたように思う。資料充実はもちろん利用されるような働きかけに努めたい。

2. 図書予算決算報告

科目名	冊数	金額
小学校図書	715	999,887
同和教育	0	0
合計	715	999,887

一人当たり購入数 / 1.36冊 金額 / 1,897円

3. 蔵書冊数

15,553 冊 (2009 年 3 月 31 日現在)

4. 年間受入資料数

分類番号	一般図書	参考図書	絵本	紙芝居	楽譜	マンガ	カセット	C D	ビデオ	DVD	CD-ROM	合計
総記	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
000	8,033	2,079	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10,112
哲学	37	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	37
100	39,465	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	39,465
歴史	54	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	54
200	74,763	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	74,763
社会科学	47	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	47
300	110,290	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	110,290
自然科学	83	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	83
400	147,742	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	147,742
技術	42	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	42
500	80,450	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	80,450
産業	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21
600	39,779	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	39,779
芸術	20	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	22
700	28,181	0	0	0	0	1,360	0	0	0	0	0	29,541
言語	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21
800	48,383	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	48,383
文学	287	0	119	0	0	0	0	0	0	0	0	406
900	295,518	0	150,126	0	0	0	0	0	0	0	0	445,644
合計	617	1	119	0	0	2	0	0	0	0	0	739
	872,604	2,079	150,126	0	0	1,360	0	0	0	0	0	1,026,169

(上段：冊数、下段：金額) 寄贈図書を含む

年間受入資料冊数は、739 冊 1,026,169 円で一冊平均 1,389 円である。やや一冊の平均単価が増額した。

全体のバランスを意識しながら、教科でも使ってもらえるような選書を心がけたつもりであったが、よく利用される 9 分類 (文学) の受入が約 55% と高い比率を占めてしまった。小さいうちに「読書」の習慣をつけるためには仕方ない反面、文学以外の資料も利用されるよう働きかけていかなければならない。

2008 年度も夏休み中に選書委員の先生方と T O H A N に出向き選書する機会を作ることができた。やはり教科関連や「学習に役立つ」といったセットものは授業で使われる先生方の意見を参考に、カタログを見て購入するのではなく、実物を見て購入していきたい。また直接書店に出向くことで、出版傾向なども見えてくる。近年、一般書を子ども向けに編集しなおした本や高学年から読めるヤングアダルト層の本も増加してきており、選書に悩むこともある。児童や先生方とともに図書館の蔵書を作っていきたい。

5. 貸出冊数

貸出冊数及び一人当たりの貸出数（過去5年間）

	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度
対象人数（人）	547	542	544	530	527
貸出冊数（冊）	36,134	35,557	36,443	35,319	34,969
1人当たり貸出冊数（冊）	66.06	65.60	66.99	66.64	66.35

分類別貸出冊数

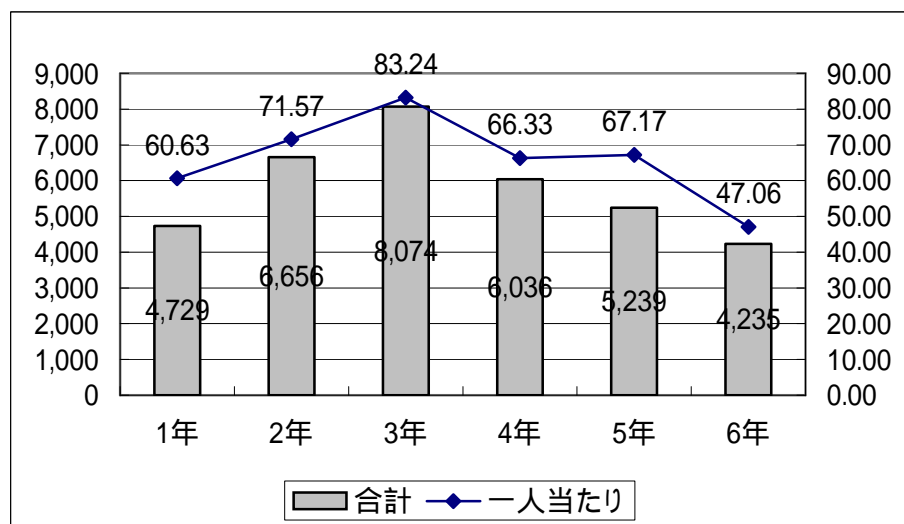
総記(000)	哲学(100)	歴史(200)	社会科学(300)	自然科学(400)
59	499	1,749	861	1,848

技術(500)	産業(600)	芸術(700)	言語(800)	文学(900)
1,511	1,034	1,231	512	25,665

学年別貸出冊数

	貸出冊数	児童数	一人当たり
1年	4,729	78	60.63
2年	6,656	93	71.57
3年	8,074	97	83.24
4年	6,036	91	66.33
5年	5,239	78	67.17
6年	4,235	90	47.06

学年別貸出冊数



貸出資料は約74%が9分類（文学）で相変わらず各学年ともシリーズものに人気があり、よく借りられた。1年生は『ミッケ』（絵本）や『いたずらまじょ子』（藤真知子/作）、2年生は『レインボーマジック』（メドウズ/作）、4年生は『なんだかんだ名探偵』（杉山亮/作）のシリーズ、5年生は『アトムポケット人物館』、6年生は『ロアルド・ダール コレクション』などのシリーズに特に人気が集まっていた。3年生だけは何かのシリーズに偏ることなく読まれていたのが2008年度の特徴である。

2007年度に設置した「ひまわり文庫」の本もよく利用された。また同年度末（春休み中）に大幅な本の配置換えをして1年が経過した。児童たちは慣れるのが早く大きな混乱はなかった。入り口近くに学習に係る本を置くようにしたことで、目につきやすく利用が増えることを期待したが、あまり効果はなかった。



6. まとめ

小学校ならではの図書の時間があるため、本当に読んでいるかどうかは別として貸出数やよく借りられる分野にさほど変化はみられない。図書館は読書だけではなく疑問に思ったことを解決する場でもある。日ごろ疑問に思ったことや調べ学習などの授業でも図書館を活用して、「自分で調べられる力」を身につけていってほしいと願う。残念ながら、そのための授業との連携や図書館からの働きかけが不十分だった。それでも授業に関連した資料集めの依頼は定着してきた。今後の課題として、それらの資料がどのように使われるのか、不足分はないかなどを調査すること、さらに言えば児童が自分でそれらを探せるような利用指導を目標に努めたい。

．幼稚園活動報告・統計

1．活動報告

幼稚園の活動は、幼稚園 2 階にある図書室で、保護者の協力のもとに各クラスから選出された図書委員 6 名×10 クラスの計 60 名により、園児を対象に貸出が行われている。

1) 図書委員会 (保護者委員)

- ・ 2008 年 6 月 5 日 図書委員紹介・活動内容説明・役割分担
- ・ 2009 年 2 月 26 日 反省会

2) 貸出・返却

開室日時 : 毎週木曜日 12:00 ~ 14:00 (年間 16 回最終日は返却のみ)

貸出冊数 : 園児 3 冊まで

貸出期間 : 1 週間

貸出等の手続きは図書委員 12 名・役員 3 名グループの輪番制によって行われている。

3) 図書部会 (図書係先生)

- ・ 2008 年 6 月 6 日 第 1 回図書館教育委員会

4) 発行物

- ・ 学院図書館案内 (1 学期始業時・入園時)

毎年年度の初めに、保護者の方々へ学院図書館の利用案内を配布している。

- ・ としょかんつうしん (年 3 回)

保護者を対象に、図書室における園児貸出の様子や、図書館資料の案内、お知らせやお願いなどを中心とした内容で発行している。

2．図書予算決算報告

科目名	冊数	金額
幼稚園図書	207	244,142
図書館	55	55,134
同和教育	0	0
合計	262	299,276

一人当たり購入数 / 0.83 冊 金額 / 956 円

3. 蔵書冊数

5,141 冊 (2009 年 3 月 31 日現在)

4. 年間受入資料数

分類番号	一般図書	参考図書	絵本	紙芝居	楽譜	マンガ	カセット	C D	ビデオ	DVD	CD-ROM	合計
総記 0 0 0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
哲学 1 0 0	7 6,818	0	5 4,692	0	0	0	0	0	0	0	0	12 11,510
歴史 2 0 0	1 1,260	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1 1,260
社会科学 3 0 0	19 29,611	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19 29,611
自然科学 4 0 0	20 26,045	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20 26,045
技術 5 0 0	6 7,263	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6 7,263
産業 6 0 0	2 1,645	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2 1,645
芸術 7 0 0	15 15,646	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15 15,646
言語 8 0 0	1 945	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1 945
文学 9 0 0	9 8,326	0	212 242,872	0	0	0	0	0	0	0	0	221 251,198
合計	80 97,559	0	217 247,564	0	0	0	0	0	0	0	0	297 345,123

(上段：冊数、下段：金額) 寄贈図書を含む

年間受入資料数は、297 冊 345,123 円で一冊平均 1,162 円である。

受入資料数の約 74% が絵本やよみものである。幼児向け本の多様化に伴い、図鑑の他にも職業に関する本や料理に関する本も選書を行った。2008 年度も夏に一度、図書系の先生と図書の取次店に行って直接選書を行った。

また、消耗図書としては各クラスにおりがみやビーズの本などを、図書室にはしかけ絵本を購入した。

5. 貸出冊数

貸出冊数及び一人当たりの貸出数 (過去 5 年間)

	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度
対象人数 (人)	328	344	324	352	313
貸出冊数 (冊)	8,623	8,433	8,839	12,387	10,810
1人当たり貸出冊数 (冊)	26.29	24.51	27.28	35.19	34.54

分野別貸出数（ラベルの色）

児童文学(赤)	宗 教(黄)	学習百科(緑)
8,844	101	1,865

クラス別貸出冊数

園児数	29	29	33	33	30	31	32	33	32	31	313
クラス	ばら	ゆり	のばら	ひまわり	ふじ	ちゅうりつぷ	たんぼぼ	さくら	すみれ	きく	合計
赤	945	765	927	665	914	744	974	978	942	990	8,844
黄	8	6	3	11	11	3	19	14	5	21	101
緑	96	140	201	282	193	238	121	163	240	191	1865
冊数	1,049	911	1,131	958	1,118	985	1,114	1,155	1,187	1,202	10,810
人数	410	389	440	370	423	401	397	438	433	440	4,141

2008 年度 2007 年度より開室日（貸出日）数が 2 日少ないにもかかわらず、園児一人当たり年間 34 冊もの資料を借りている。貸出利用者の総のべ人数は 4,141 人であり、これは 1 回の開室につき平均約 276 名の利用となり、2007 年度より全体の利用者が 5% 増加している事になる。

年度の途中から満 3 歳児が入園し、その都度図書貸出にも対応した。

また、2008 年度も夏休み期間中と冬休み期間中にも貸出を行い、蔵書点検を 6 月の貸出前に行った。

6. まとめ

図書貸出については、貸出作業が比較的スムーズに行われる中、入り口付近での図書袋の受渡しに混雑が見られる様だった。階段を利用して貸出に来る園児もいる事から、安全面で図書袋の利用は不可欠であるので、担当人員を増やす等の策を考えたい。

貸出面において、「図書貸出の日には本を借りる」というのが園児のなかでも定着してきており、2008 年度は 1 日に平均 88% の園児が貸出を行った。

設備面では、図書役員の方による案内板の作成や、季節に応じた特集コーナーの設置が園児たちの目を引いていた。年度末には約 250 冊を図書館へ移管し、収容・配架作業がスムーズに行えるように対応を行った。

蔵書管理面において、2008 年度も夏休み貸出に対応するべく、6 月の年度貸出開始以前に蔵書点検を行った。

学院図書館の保護者利用も、幼稚園保護者だけで 2008 年度は 113 名の利用登録がなされている。今後も「としょかんつうしん」などの広報で利用案内を続けていきたい。

． 図書館利用アンケート結果

図書館サービスが利用者にどのように評価されているか、図書館に対する要望は何かを知るために、中学生・高校生・短大生を対象に 2004 年度より毎年行っている調査である。

調査項目は、読書量や図書館の利用目的、予約や購入希望の認知度、図書館への要望など多岐にわたる。 アンケート結果は今後の図書館活動を見直すための参考資料とする。

1 . 調査対象

	生徒数 (人)	回答数 (人)	回答率 (%)
短大 (初教)	196	146	74.5
短大 (人環)	68	44	64.7
高校	586	536	91.5
中学	315	293	93.0

2 . 1 ヶ月の読書量 (漫画・雑誌を除く)

	a.0冊	b.5冊まで	c.10冊まで	d.20冊まで	e.21冊以上	無記入
初教	52.7	44.5	1.4	0.7	0.0	0.7
人環	52.3	43.2	0.0	2.3	0.0	0.0
高校	43.1	50.4	4.5	1.3	0	0.2
中学	37.9	45.7	11.9	2.7	1.7	0.0

(単位：%)

短大初等教育学科 (以下「初教」) の学生の半数が「0冊」と回答しているが、実際は1冊以上の資料を借りている。利用する資料の多くが実習に役立つ実用書で本を読んでいるという実感がないからだと思われる。短大人間環境学科 (以下「人環」) の学生の未読者は 2007 年度より減少している。

3 . 図書館利用率

1) 公共図書館の利用

	a.毎日	b.1週間に3回以上	c.1週間に1~2回	d.月に2~3回	e.めったに行かない	f.全然行かない	無記入
初教	0.0	0.7	2.1	13.0	52.7	30.8	0.7
人環	0.0	2.3	4.5	9.1	40.9	43.2	0.0
高校	0.4	0.0	1.1	7.5	39.9	50.7	0.4
中学	0.0	1.4	2.4	5.8	38.2	51.2	1.0

(単位：%)

公共図書館の利用には特に変化がみられない。

2) 大阪信愛女学院図書館の利用

	a.毎日	b.1週間に3回以上	c.1週間に1~2回	d.月に2~3回	e.めったに行かない	f.全然行かない	無記入
初教	0.0	0.0	7.5	31.5	50.7	9.6	0.7
人環	0.0	0.0	15.9	11.4	27.3	43.2	0.0
高校	1.5	4.1	11.4	31.7	36.6	14.7	0.0
中学	2.4	7.8	13.7	22.9	24.9	16.7	0.0

(単位：%)

中学生については約47%の生徒が「月に2～3回」以上と回答し、2007年度より9%減少している。高校生は昨年度と同様で「月2～3回」以上との回答が46%程度である。図書館の利用目的がインターネットの利用や、勉強のためとの回答も多いことから、来館が貸出に結びついていない現状がある。

短大生の利用は増減しておらず、初教の学生の実習準備の利用は多いように思われる。人環は、「月に2～3回」以上との回答が27%と2007年度より17%増加している。

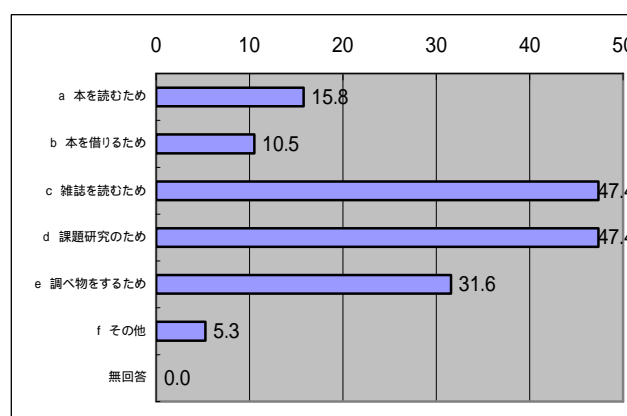
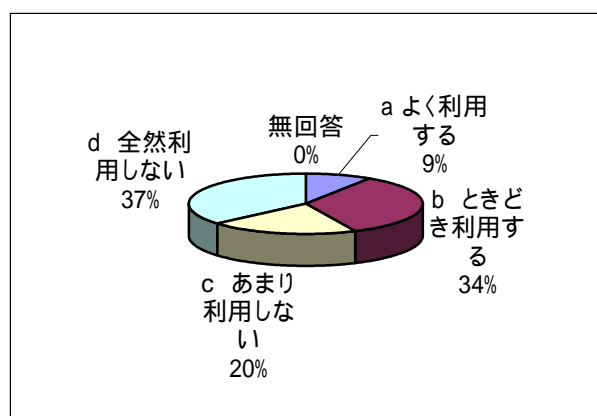
「めったに行かない」「全然行かない」理由を選択回答してもらった結果は下記のとおりである。「普段は図書館へ行かないが、定期試験時には利用することもある」の回答は、高校生が中学生・初教学生よりも少なかった。

相変わらず「なんとなく」が各校とも多く、中高生はクラブや稽古事、塾などで図書館へ行く時間がないことをあげている。

	初教	人環	高校	中学
読みたい本がない	19.3	22.6	10.9	27.0
読みたい雑誌がない	1.1	6.5	1.8	18.0
聴きたいCDがない	2.3	6.5	4.7	20.5
観たいビデオやDVDがない	2.3	3.2	2.9	12.3
本の探し方がわからない	0.0	0.0	1.5	6.6
図書館の先生の対応が悪い	0.0	0.0	1.1	5.7
図書館の雰囲気が嫌	5.7	0.0	1.8	12.3
貸出や返却などの手続きが面倒	12.5	6.5	10.9	23.8
本が嫌い	3.4	6.5	9.1	23.8
なんとなく	33.0	83.9	38.9	24.6
クラブや稽古事、塾などで図書館へ行く時間がない	-	-	33.5	55.7
普段は図書館へ行かないが、定期試験時には利用することもある	48.9	9.7	24.4	42.6
メディアコーナーで十分	-	19.4	-	-
鶴見学舎から遠い	-	3.2	-	-
その他	3.4	0.0	4.4	4.9
無記入	4.5	0.0	2.2	3.3

(単位：%)

3) メディアコーナーの利用(人環対象)



鶴見学舎にあるメディアコーナーの利用を尋ねた結果である。「本を借りるため」の回答が最も低く、メディアコーナーに置いてあるパソコンを利用した課題研究や、「雑誌を読む」目的が最も多くを占めている。

4. 利用目的（大阪信愛女学院図書館を「月2～3回」以上利用すると回答した学生・生徒対象）

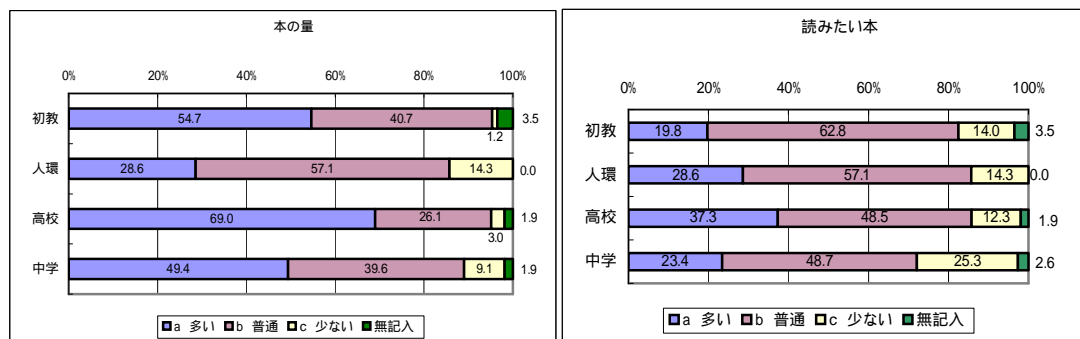
	初教	人環	高校	中学
図書館の本を読むため	17.5	33.3	35.2	46.0
図書館の本を借りるため	57.9	58.3	75.5	55.5
CDを借りるため	26.3	41.7	38.7	27.7
ビデオ・DVDを観るため	17.5	0.0	18.0	28.5
新聞・雑誌を読むため	24.6	16.7	27.2	32.1
課題研究のため	59.6	0.0	-	-
勉強のため	-	-	46.0	29.9
個人的な調べ物をするため	14.0	0.0	13.0	10.9
宿題のため	-	-	19.5	13.1
友達との待ち合わせ	0.0	0.0	6.5	8.0
インターネットを利用するため	0.0	0.0	10.0	48.2
その他	0.0	0.0	1.5	2.2
無記入	0.0	0.0	1.5	3.6

（単位：％）

各校とも「図書館の本を借りるため」が最も多いが、全校平均で2007年度より10%以上低くなっている。初教の学生では「課題研究のため」の回答が多いのは実習準備で必要だからであろう。高校生では次いで「CDを借りるため」で、中学生では「図書館の本を読むため」だった。「インターネットを利用するため」と回答した中学生も多く、インターネット利用統計からも昼休み・放課後と毎日のように利用している生徒もあり、特に中学生は年々10%ずつ増加している。

5. 利用で感じていること

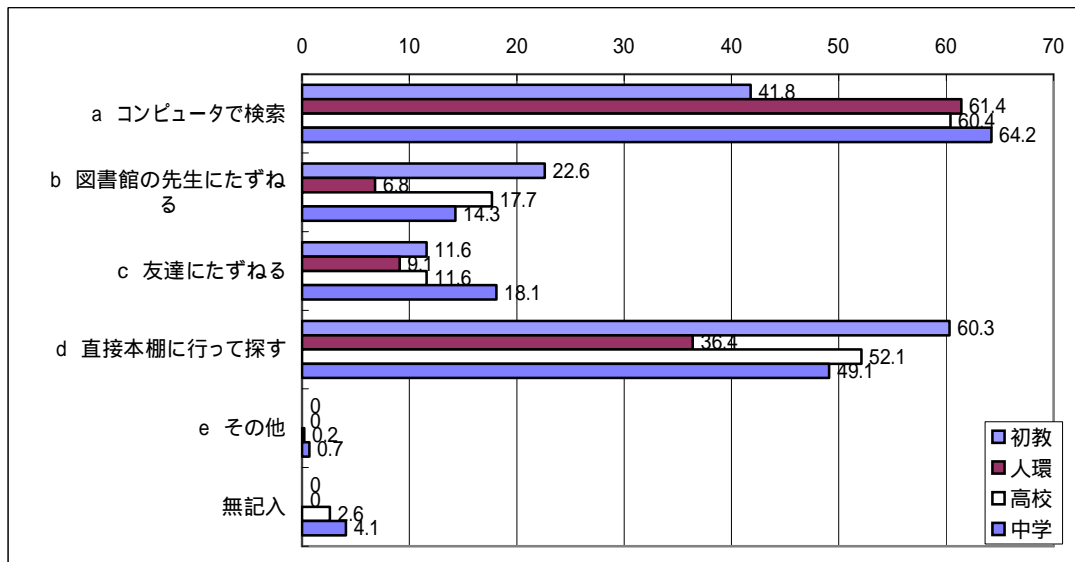
（大阪信愛女学院図書館を「月2～3回」以上利用すると回答した学生・生徒対象）



本の量は初教で49%、人環で41%、高校で71%、中学で46%が「多い」と回答しているが、読みたい本となるとその数は半減してしまう。それは中高生・短大生の読みたい本を本当に所蔵していないことも考えられるが、図書館にあっても貸出中だったり、十分に探しきれいなくて図書館にはないと判断してしまっていることがこの回答の要因と考えられる。予約制度、購入希望制度を利用するように呼びかけていきたい。

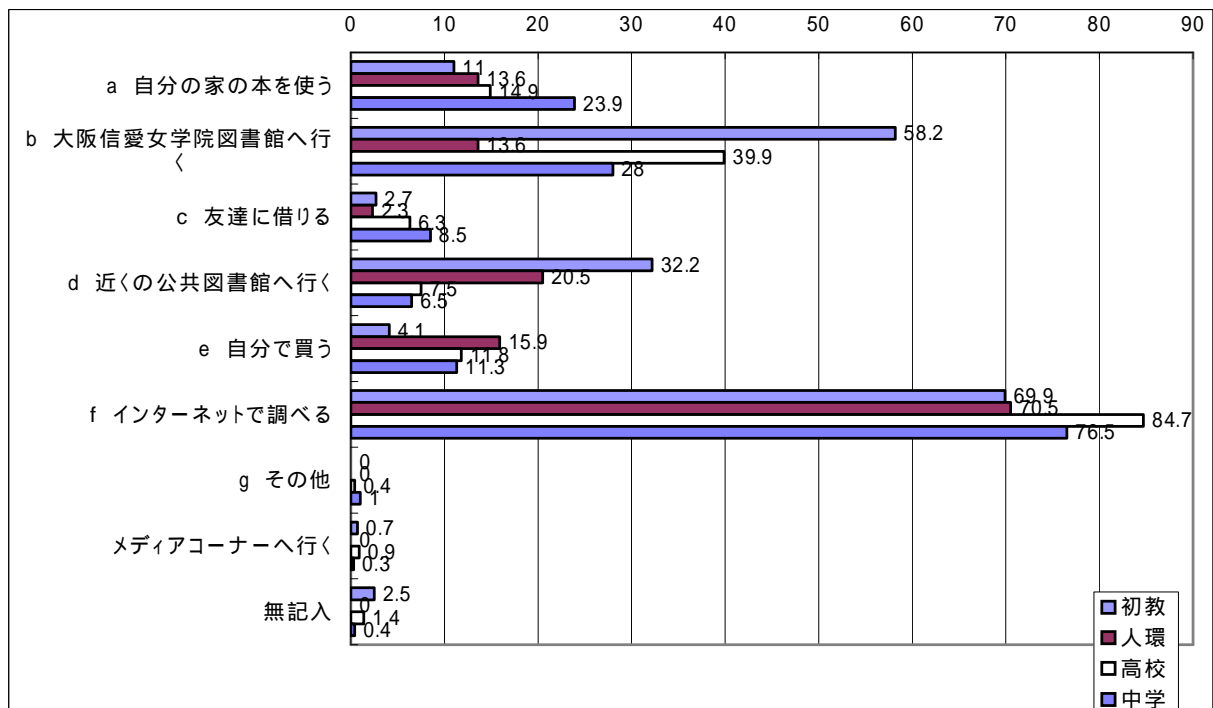
6. 資料の入手方法

1) 図書館で読みたい本を探すとき



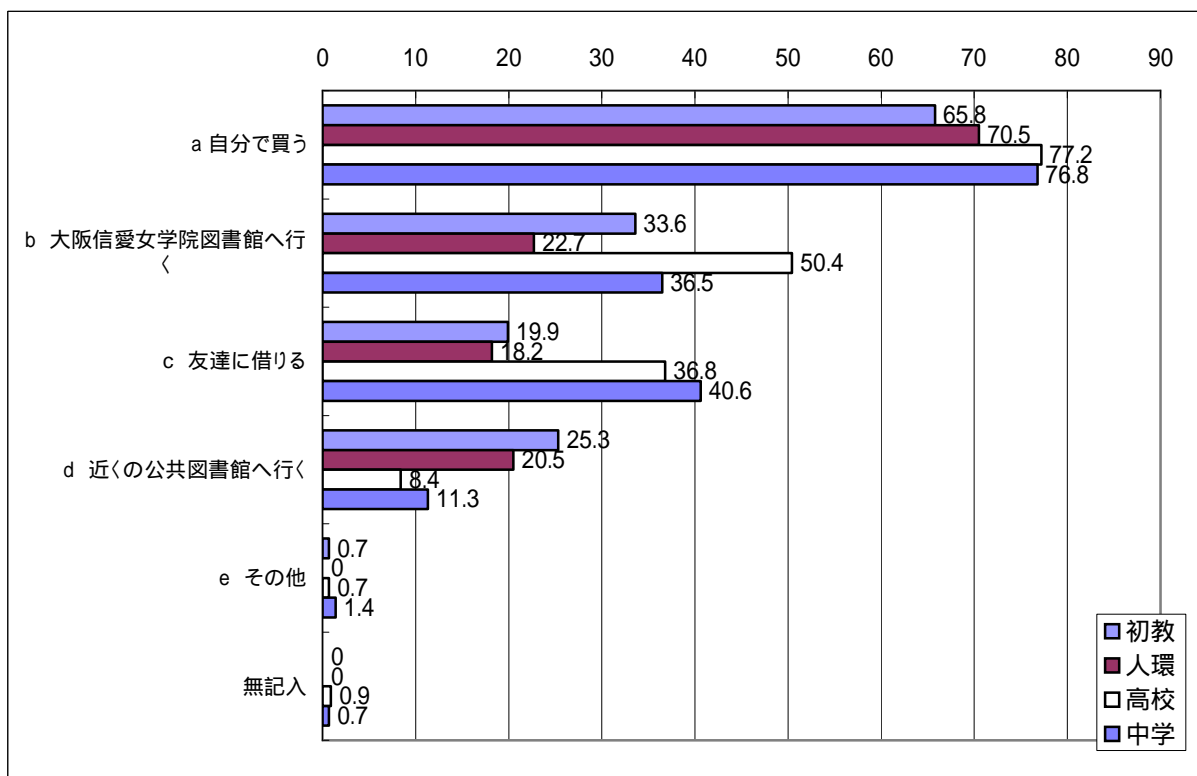
人環・中高生は「コンピュータで検索」が半数以上を占めている。初教学生は目的がはっきりしているからか「直接本棚に行って探す」という回答多くなっている。「図書館の先生にたずねる」は2007年度とほぼ変化は無い。

2) 調べ物をしなければならないとき



調べ物をする場合は圧倒的に「インターネットで調べる」という回答結果で、毎年変わらない傾向にある。短大生の大阪信愛女学院図書館、公共図書館の利用傾向も昨年同様である。おそらく初教の学生にとって調べ物 = 実習で、学院図書館には実習に必要な資料が充実しているためと考えられる。

3) 読みたい本があったとき



短大生・高校生の「大阪信愛女学院図書館へ行く」という回答が約5%づつ増加したが、中学生のみ5%程度減少している。他の回答は2007年度とそれほど変化は無い。予約制度や購入希望制度の認知もされており、どんな本やCDがあるのか毎月新着情報を図書館だより掲載し配布してきたからの増加だと思われる。

7. 「予約」「購入希望」制度の認知

	a.知っている			b.知らない			無記入							
	初教	人環	高校	中学	初教	人環	高校	中学	初教	人環	高校	中学		
予約	初教	69.2	30.1	0.0	予約の利用	初教	14.9	82.2	3.0	購入希望の利用	初教	4.8	92.8	2.4
	人環	68.2	40.9	0.0		人環	20.0	80.0	0.0		人環	28.0	80.0	0.0
	高校	93.1	6.2	0.7		高校	45.9	53.1	1.0		高校	33.1	65.2	1.6
	中学	91.1	7.2	1.7		中学	49.4	50.6	0.0		中学	21.2	78.5	0.4
購入希望	初教	56.8	40.4	0.0	購入希望の利用	初教	4.8	92.8	2.4	購入希望の利用	初教	4.8	92.8	2.4
	人環	56.8	36.4	0.0		人環	28.0	80.0	0.0		人環	28.0	80.0	0.0
	高校	91.8	6.0	2.2		高校	33.1	65.2	1.6		高校	33.1	65.2	1.6
	中学	88.7	9.9	1.4		中学	21.2	78.5	0.4		中学	21.2	78.5	0.4

(いずれも単位：%)

「予約」「購入希望」ともに中高生の認知度は高く、まだまだではあるが短大生でも認知されてきた。利用の有無を尋ねたところ「それほど必要としていない」が最も多く、中には制度としては知っているが具体的な利用の仕方がよくわからない、といった説明不足の指摘もあった。今後は利用されるように周知徹底していきたい。

8. 広報

広報に関して主に図書館で配布している新着図書案内「あたらしい本」、中高生対象に全員配布している図書館だより「らい ぶらり」、図書館前掲示板、学生対象に短大校舎掲示板をそれぞれの程度見ているかを尋ねた。

1) 新着案内「あたらしい本」

	a. よく見ている	b. たまに見る	c. 見たことがない	無記入
初教	2.7	46.6	47.9	2.1
人環	2.3	27.3	65.9	0.0
高校	13.0	73.0	14.0	1.1
中学	9.9	70.3	19.5	0.3

(単位は%)

新着案内は図書館玄関やカウンター周りにおいてあり、自由に持ち帰ることができる。「たまに見る」の割合が2007年度より増加し、「見たことがない」が約20%減少している。掲示板・館内掲示を増やして成果が出ているものと思われる。

2) 図書館だより「らい ぶらり」

	a. すみずみ読む	b. 一通り目を通す	c. ほとんど読まない	無記入
高校	12.0	59.0	28.0	1.1
中学	13.7	54.9	31.1	0.3

(単位は%)

図書館からのお知らせや新着案内、利用の様子など気になったことを掲載しているが、2007年度より「ほとんど読まない」割合が増加している。

3) 図書館前掲示板

	a. よく見ている	b. たまに見る	c. 見たことがない	無記入
初教	0.7	45.9	49.3	2.7
人環	0.0	25.0	70.5	0.0
高校	7.8	62.0	29.0	1.5
中学	13.3	61.8	24.2	0.7

(単位は%)

図書館前の掲示板は新着資料の案内や各種お知らせ、ポスターなどを掲示している。

4) 短大校舎掲示板(短大生対象)

	a. よく見ている	b. たまに見る	c. 見たことがない	無記入
初教	19.6	64.0	28.8	2.7
人環	6.8	31.8	56.8	0.0

(単位は%)

掲示板の中の図書館についての回答をしている学生と掲示板全体のつもりで回答している学生がいると思われる。もし掲示板全体として回答しているのであれば、問題である。

5) ホームページ

	a. よく見ている	b. たまに見る	c. 見たことがない	無記入
初教	19.6	64.0	28.8	2.7
人環	0.0	25.0	70.5	0.0
高校	2.8	29.0	66.0	2.1
中学	2.4	35.5	61.1	1.0

(単位は%)

この設問は 2008 年度始めて設けた設問である。全体として見ている割合は約 40%である。さらに広報をする必要がある。

9. よく読む雑誌(上位5誌)

	初教	人環	高校	中学
1	ps	SOUP ViVi	ViVi	poteto
2	Mina Non-no Pinky	Non-no	Non-no	winkup
3	soup	Zipper	Popteen	ポポロ
4	CanCam	cancam	Pinky	Seventeen
5	Blenda Sweet	-	SEVENTEEN	Myojo

ほとんどがファッション・芸能に関する雑誌であった。

10.好きな作家(上位5人)

	初教	人環	高校	中学
1	東野圭吾	東野圭吾	東野圭吾	あさのあつこ 乙一
2	吉本ばなな	江国香織	乙一	赤川次郎 山田悠介
3	石田衣良 山田悠介 恩田陸 乙一	石田衣良 乙一 恩田陸 村上由佳	山田悠介	美嘉
4	-	-	あさのあつこ	Yoshi
5	-	-	森絵都	太宰治 田村裕 東野圭吾

短大生の回答が非常に少なく、複数回答があったものだけをあげた。

1 1 . 最近読んで面白かった作品（上位 5 作品）

	初教	人環	高校	中学
1	流星の絆	夢をかなえるゾウ 恋空 赤い糸 阪急電車	ホームレス中学生	恋空
2	夢をかなえるゾウ	-	恋空	ホームレス中学生
3	ハリリー・ポッター	-	こころ 探偵ガリレオ	君空
4	恋空 赤い糸 池袋ウエストゲートパーク 1リットルの涙	-	ZOO キノの旅 君空 ドアD 容疑者 X の献身 予知夢	赤い糸
5	-	-	-	しにがみのバラッド

短大生の回答が非常に少なく、複数回答があったものだけをあげた。

1 2 . 図書館への意見や要望

自由記述のため記入はあまり多くないが、「CD・DVDを多く入れてほしい」や「CDのジャンルを増やして」などの要望が多かった。また、その他の要望として「館内を明るく」「館内がうるさい」「ホームページから予約や購入希望ができるようにしてほしい」などがあった。

その一方で、「本がたくさんあってよい」「利用しやすい」「便利な図書館」「とても充実している」など良い評価も多くあった。

アンケート調査結果は毎年大差なく、予想通りの結果と言える。今年で5回目になるが、全学生・生徒の動向、意見や要望を取り入れる唯一の機会でもあり、この結果を踏まえ図書館活動を見直す材料にしたい。多くの学生や生徒が「なんとなく」図書館を利用しないと回答している。

オリエンテーションで必ず1回は図書館に来ているが、その後なかなか足が向かない生徒が多いようである。しかし、その後来館した生徒の中には、「こんなものもあるのか」と驚いているのをよく目にする。

「古雑誌・図書配布」「雑誌付録プレゼント」「らい ぶらり」配布など、あらゆる機会を設けてできるだけ多くの生徒が来館できるように活動していきたい。